

第1回日本臨床耳鼻咽喉科医会セッション開催の報告

副会長 浅井英世

(一社)日本臨床耳鼻咽喉科医会が2020年4月に設立され、11月8日の第34回日本耳鼻咽喉科学会秋季大会において、第1回日本臨床耳鼻咽喉科医会セッションが開催されました。今回は設立記念講演会として2つのセッションが設けられました。セッション1(共通講習(任意))は浅井副会長の司会で、森山寛先生(日耳鼻前理事長)と白根雅子先生(日本眼科医会会長)に「医会組織の必要性と他科との連携」をテーマとして、セッション2(領域講習)は福與会長の司会で、自見はなこ先生(参議院議員)に「成育基本法における耳鼻咽喉科の役割」をテーマとしてご講演いただきました。



森山先生には「学会と医会」というタイトルで、1) 全国的組織としての「臨床医会」について(設立の必要性、目的、概略)、2) 将来型診療へのシフト(少子・超高齢社会、疾病構造の変化、他科との競合・連携)、3) 学会と医会の関係についての歴史的背景、4) 「臨床医会」設立までの歩み、経緯、5) 日耳鼻との連携強化策ならびに役割分担について講演していただきました。最後に日耳鼻と臨床耳鼻科医会がともに手を携え、様々な組織と連携することによって耳鼻咽喉科・頭頸部領域の医学・医療が発展し、各地域における良質な医療提供体制がさらに充実することを願っていますと締めくくられました。



白根先生には「公益社団法人日本眼科医会の活動：人生100年時代に向けた取り組み」というタイトルで、1) 日本眼科医会の組織・構成、活動の目的、学会と医会の関係、2) 人生100年時代の各世代における視力、疾患、障害とそれに対する対策・対応、3) 主な取り組み(広報、診療報酬改定への対応、男女共同参画、勤務医、災害対策、他科との連携、健診、中央への働きかけなど)について説明があり、最後に感覚器を扱う科として耳鼻咽喉科と眼科がともに発展することを願いますと締めくくられました。



自見先生は、「生育基本法における耳鼻咽喉科の役割」というタイトルで、1) わが国の母子保健を巡る現状、2) 成育基本法成立の経緯と関連する諸施策、3) 難聴対策推進議員連盟、4) コロナ下での耳鼻咽喉科への支援について詳しく述べられました。自見先生が日本の医療と国民の健康を守るために日々全力を尽くしておられ、医療政策の実現のために大変なご苦勞をされていることがよくわかるご講演でした。

今回の講演会によって会員の先生方に臨床耳鼻科医会設立の経緯とその必要性についてご理解いただくことができ、また、私たちの進むべき道筋も示されたように思います。医会セッションは臨床耳鼻科医会の重要な学術集会で、来年度も引き続き会員の先生方のお役に立つ講演会を企画していきたいと考えております。会員の先生方におかれましては今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に格別のご配慮をいただきました武田憲昭実行委員長と日耳鼻理事会に厚く御礼を申し上げます。

